

耶麻農業高校 農場便り

あ・ぐ・り

Agriculture ~ 農業 ~

第39号

平成27年7月16日発行
発行責任者
農場長 菊地 庸雄

農業クラブより

大会結果並びに今後の大会について紹介します。今年の農業クラブの大会は、6月2、3日に家畜審査競技県大会、6月16、17日に意見研究発表県大会が、ともに福島市で開催されました。意見研究発表大会では惜しくも入賞はなりませんでした。家畜審査競技では、乳牛の部で五十嵐智美さんが、肉牛の部では遠藤瑠夏さんが優秀賞に輝きました。今後開催される農業鑑定競技、農業情報処理競技に6名の生徒が参加します。上位大会に出場できるように、選手は今、勉強中です。

写真は今年度の校内農業鑑定競技と校内意見発表大会のものです。



農場長より

平成27年度がスタートして4ヶ月が過ぎようとしています。その間、多くの方に野菜苗、草花などを購入して頂き有難うございます。生徒達は、地域の皆さんとの交流を通して激励の言葉をいただき感謝するとともに今後の農業実習や研究活動の励みとなっています。

今年も早い時期から暑い日が続き、農作物の影響が心配されますが、職員と生徒の努力と創意工夫で対応し、秋には、収穫の喜びを生徒とともに分かち合いたいと思います。今後とも耶麻農業高校農場部をよろしくお願ひいたします。



作物部門

担当 星 安部

作物部門は今年度、水稻(コシヒカリ)3.3ha、そば(会津のかおり)3.7ha、サツマイモ(にしき)10a、エゴマ10aの作付け、その他実験用として綿・ひまわりの栽培と搾油なども予定しています。そば、エゴマを使った商品開発においては、地域と連携して、特色ある商品開発を考えています。この目標達成のために作物専攻生の3年生4名と2年生6名が、研究に取り組んでいます。その中のエゴマの商品開発について、今年の農ク県大会に出場し、発表をしました。今後も商品化に向け、さらに努力を重ねているところです。



野菜部門

担当 永井 高畑 齋藤

今年度は、ネギ・ナス・キュウリ・ピーマン・甘長トウガラシ・タカノツメ・スナップエンドウ・キヌサヤエンドウ・ソラマメ・オクラ・ズッキーニ・トマト・スイートコーン・カボチャなどを作付しました。

現在は、キュウリ・ナス・トマトが収穫時期を迎えており、収穫作業に毎日追われています。夏休みも野菜販売を行いますので、保護者の皆様でご希望の方は、生徒を通じてご購入下さい。生徒が一生懸命作った「安全で新鮮な野菜」は格別、美味しいですよ。

少しでも多くの安全な野菜を皆さんに提供できるよう、今後も生徒と一緒に汗を流し、栽培していきたいと思っています。



畜産部門

担当 吉岡 板橋

今年度は、繁殖牛が3頭・昨年(6月・8月)産まれた子牛2頭、肥育牛が8頭で始まり早4ヶ月。繁殖牛2頭が妊娠し、今年度中2頭が産まれる予定です。肥育牛では、6月末に3頭を出荷し、2頭が最高ランクA5と1頭がランクA4の枝肉格付等級になり、肉質の良さからさらに高価格で競売され、また9月にも2頭出荷予定なので、生徒の研究成果が実りつつあると期待しているところです。

6月上旬に家畜審査競技大会が行われ、乳牛の部で畜産専攻生2年の五十嵐智美さん、肉牛の部で畜産専攻生3年の遠藤瑠夏さんの2名が優秀賞を獲得しました。

これからも、プロジェクト発表に向けて良いデータが得られるよう頑張っていきたいと思っています。



草花部門

担当 菊地 木戸

草花部門では、草花苗、ニューギニアインパチェンス、カンナ、キキョウなどの販売を行い多くの方に購入して頂き有難うございました。また、喜多方駅前と喜多方市役所にオブジェの製作をしましたので、機会がありましたら、ご覧いただきたいと思っています。

11月からは、シクラメンの販売をしたいと思しますのでどうぞ楽しみにして下さい。

